東海ノア
（東海 NOAH）

東海ノア通信

［原子力事業所安全協力協定］

第３１号（平成２０年３月発行）
東 海 ノ ア 協 定 事 務 局
（原子力機構・原子力科学研究所内）
Telephone：029-282-5801
E-mail：t-noah@jaea.go.jp

東海ノア通信 第３１号 をお届けします。

東海ノアでは「平成１９年度年間基本活動計画」に基づく活動を展開しております。本号は、東海ノアの日頃の活動を紹介するとともに、協定の目的の一つでもある情報の共有化のための記事も紹介しております。

東海ノア協定に基づく活動状況は、ホームページでも紹介しています。

アドレスは、http://tnoah.tokai-sc.jaea.go.jp/ です。

トピックス

☆活動状況

- 安全協力委員会の開催状況
- 活動推進幹事会の開催状況
- 自主保安に関する協力活動
- 安全教育に関する協力活動
- 情報交換に関する協力活動

☆加盟事業所からの事業所紹介

☆今後の活動予定

東海 NOAH：
東海村（東海）、那珂市（N）、大洗町（O）、旧旭村（A）…現鉾田市、ひたちなか市（H）

☆活動状況

安全協力委員会の開催状況

〇第 18 回　安全協力委員会

開 催 日：平成 20 年３月１９日（水）

開催場所：原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所

主な議題：

⑴ 平成１９年度活動状況について

⑵ 平成 20 年度年間活動基本計画について

⑶「緊急事態協力活動要領」の一部改正について

活動推進幹事会の開催状況

〇第 41 回活動推進幹事会

開 催 日：平成 20 年３月３日（月）

開催場所：原子力機構 東海研究開発センター 原子力科学研究所

主な議題：

⑴ 平成 19 年度第２回安全教育研修の実施結果について

⑵ 平成 19 年度活動状況について

⑶ 平成 19 年度第２回自主保安点検協力活動の実施結果について

⑷ 東海ノア通信第 31 号の発行について

⑸ 緊急事態協力活動要領の一部改正について

⑹ 平成 20 年度年間活動基本計画について

自主保安に関する協力活動

協定に加盟している事業所を対象に、核燃料物質使用施設、放射性物質取扱施設等の安全担当実務者及び防火管理の担当実務者からなる専門家を派遣し、安全管理について様々な観点から確認、意見交換を行い、安全管理の向上に役立てるための活動を行っております。

○平成１９年度第２回自主保安点検協力活動

今年度第 2 回目の活動は、核物質管理センター東海保障措置センターを対象に実施しました。

実施状況については次のとおりです。

⑴実施日　　：平成１９年１１月２１日（水）

⑵点検協力実施者：３名（敬称略）

・原子力機構核燃料サイクル工学研究所　　岡　　努
・三菱原子燃料株式会社　　古橋　栄
・株式会社ジェー・シー・オー　　宮内　宏和

⑶活動内容

・点検シートに基づいた質疑・応答
・現場巡視確認
・意見交換

事業所の対応者(左側)
と意見交換を行う点検
協力実施者

施設の説明を受ける
点検協力実施者

安全教育に関する協力活動

○安全教育研修

(1)平成１９年度第２回安全教育研修

開 催 日 ：平成 20 年２月１５日（金）

開催場所：日本原子力発電㈱ 総合研修センター

研修は、３事業所より１０名が参加し、小型運転シミュレータで制御棒引き抜きによる中性子束増加の確認、原子炉再循環流量の変更による出力変更等を行いました。

放射線の測定体験では、実際に計測器を用いて身近な物についての測定を行いました。

今回の研修は、８名が女性参加者でしたが、とてもわかりやすく、楽しかった等の感想がありました。

小型シミュレータを使用した
研修

制御棒操作方法を聞く研修者

測定器を用いた身近にある商品
の放射線測定実習

自然放射線測定実習

○安全講演会

(1)リスクアセスメント発表会及び講演会

開 催 日 ：平成 20 年2月２９日（金）

開催場所：原子力機構大洗研究開発センター

（講演会）

講　　師　　：中央労働災害防止協会　石田（いしだ）　昌敬（まさとし）氏

演　　題　　：「職場パトロールとリスクアセスメント」

加盟事業所２事業所より２名が参加しました。

講演会の開催風景

情報交換に関する協力活動

○加盟事業所が行う訓練等の視察見学

(1)原子力機構大洗研究開発センター

平成２０年１月 30 日（水）に総合訓練が行われ、加盟事業所から７名が参加しました。

訓練は、地震災害時の電話の輻輳（ふくそう）を想定した代替え通信機能の確認を含んだ内容となっており、訓練後の質疑応答では、参加者から、本部体制及び事故対応等について多数質問がありました。

本部室における訓練風景

☆加盟事業所からの事業所紹介

～労働安全衛生マネジメントシステム（OHSMS）の運用について～

原子燃料工業株式会社 東海事業所

当社は、昭和 47 年に古河電気工業株式会社及び住友電気工業株式会社の共同出資により設立され、以来、我が国唯一の沸騰水型（BWR）及び加圧水型（PWR）両タイプの燃料メーカーとして東海事業所と熊取事業所の二事業所を中心に事業を展開しています。

東海事業所では、事業開始以来、安全を第一に取り組んでまいりましたが、さらに効率的かつシステマティックに安全衛生活動を行うことにより、安全衛生水準の一層の向上を図ることを目的として、平成 16 年に労働安全衛生マネジメントシステム（OHSMS，OHSAS18001 準拠）の認証を取得しました。

OHSMS とは、Occupational Health & Safety Management System の略で、品質 MS （QMS，ISO9001 準拠）、環境ＭＳ（EMS，ISO14001 準拠），保安品質 MS（JEAC4111 準拠）と同様、PDCA サイクルを回し、掲げた目標を達成、さらにはそのパフォーマンスを継続的に改善していく仕組みです。

OHSMS の特徴は、リスクアセスメントと継続的改善にあります。

以下に、当社におけるリスクアセスメントと継続的改善についてご紹介します。

●リスクアセスメント

リスクアセスメントとは、労働者の就業に係る危険（危険源）を見つけ出し，その危険性又は有害性の種類及び程度によりリスクを見積り、かつ、その結果に基づき、リスクを軽減するための措置を検討することです。つまり、事故が起きてから対策をとるのではなく、災害を未然に防止しようとするものです。

当社では、年度始めに作業標準からのスクリーニング及びその他の作業からのリストアップにより危険源の特定を行います。

続いて、それらの危険源について、リスクの大きさを、結果の重大性（５段階）×発生確率（５段階）により求めた上で、15 点以上を即時改善、14～9 点を早急改善、8～6 点を要改善として、リスクの改善を目指します。

改善対策の立案は、設備等の本質安全化（危険の原因自体が解決され、危険性がつみ取られている状態）を優先しますが、リスクの内容に応じて、手順・手段の改善、要員の配置・指示・点検の強化、教育などの方法を用います。

なお、６点以上のリスクについては、毎年度 80%以上の減少を目標として、マネジメントプログラムに取り上げており、認証取得以来、次表の通り実績を挙げております。

単位：件

	年度初		年度末	
平成15年度	53	→	13	（75%減）
平成16年度	73	→	15	（79%減）
平成17年度	43	→	3	（93%減）
平成18年度	62	→	17	（73%減）

リスクアセスメントの実施に際して当社が重視しているのは、職場単位ごとにどのようなリスクが存在するかを、実際にその場で働き、職場の実情を知り尽くしている職員の意見をできる限り採り入れつつ、見落としなく拾い上げるようにすることです。

これにより、ひとり一人が自分自身の職場の安全衛生について深く考えるようになるとともに、改善意識の向上にも寄与していると考えています。

●継続的改善

最初から完璧なものを目指すのではなく、まずできるところから段階的に改善を行い、それを継続させていくことが必要です。このため，大きなリスクの改善や手をつけやすい改善対策から優先的に実施し，これを継続してゆくことにしています。

また，当社では、リスクの改善とともに，マネジメントシステムの運営及び管理面の充実が重要と捉えており、管理アセスメントという独自の活動を行っています。

管理アセスメントとは、OHSMS 運営・管理に関する業務改善をリスクアセスメント手法を用いて実施しようとするもので、リスクアセスメントと同様に年度当初に管理面の不具合を抽出し、それらについて、ルール制定のレベル、周知のレベル、業務効率、不具合の程度の４つの観点から評価を行い、業務に支障がある案件については、改善対策を立案し、改善活動を行います。

例えば、内部監査員が不足している場合、管理アセスメントによって、「人数が少ないために業務効率が非常に悪い上、特定の人物に負荷が集中し、不具合が生じている」という不具合が出され、改善対策として「内部監査員養成講習を開催し、認定者を追加する」などの改善対策が立てられ、計画的に不具合を解消していくことになります。

当社の OHSMS 活動も５年目となりましたが、今後も、継続的改善を積み重ねて、さらなる安全衛生の向上に努めていきたいと考えております。

☆今後の活動予定

・第４２回活動推進幹事会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５月
・東海ノア通報連絡訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５月
・（茨城県通報連絡訓練）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６月～
・平成２０年度第１回自主保安点検協力活動・・・・・・・・・・・・　７月

編集後記

「今年の冬は寒かった」と感じられた方は多かったのではないでしょうか。

今年度も残り僅かとなり、何かと忙しいこの頃ですが、春の足音が少しずつ聞こえるようになってきました。もうすぐ桜が南から北へと順次移り、人々の心を和ませてくれるとともに、改めて日本の四季を感じるこの頃です。

事務局では、現体制となって１年が経過しました。これからも、目的である「情報の交換・共有化」を行いながら、皆様の参考となるように趣向を凝らして行きたいと考えています。

早春の河津桜

東海ノア通信

東海ノア
（東海 NOAH）

記事の中で、「日本原子力研究開発機構」は
「原子力機構」と略称で記載しております。